

令和2年度事業報告

概 要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が全国に拡大し、政府は、4月に福岡県にも緊急事態宣言を発令しました。それに伴い、大牟田市においても、大蛇山祭りなどのイベントの中止や延期、市立小・中学校の臨時休校などを行いました。さらには、7月の集中豪雨による災害の発生など、当シルバー人材センター事業にも大きな影響をもたらしました。

このようなことから、事業実績は、請負事業で収入が増加したのは、事務整理群の211千円増のみとなりました。その他の職種については、全て収入が減少しており、植木剪定を含む技能群で、約10,000千円減、学校管理や世界遺産、駐車場の管理職群で約16,000千円減、除草を含む一般作業群では約7,000千円減、広報配布などのサービス群でも約8,400千円減となっています。令和2年度より始めた介護予防・日常生活支援総合事業については、契約金額が74千円で目標契約金額には及ばなかったものの新しい取組として今後、事業の拡大が見込まれます。派遣事業においても前年度より6,071千円減の11,052千円となり、目標の15,000千円に対し、26%減となりました。事業全体は前年度実績を43,000千円下回り、2億70,372千円で実施計画目標の3億11,970千円を達成できませんでした。

重要な課題の一つである会員の確保については、ホームページでの情報発信、全戸配布の無料情報誌やチラシでの募集、会員の声掛け運動や就業内容の周知、仮会員制度の普及等に取り組みましたが、前年度より16人減の579人で、目標の680人に対し85%となり、残念ながら目標に達しませんでした。定年65歳が定着し、70歳定年の取組も進められる中で、コロナウイルス感染防止に伴う就業機会の減少など、会員拡大の取組については、課題を残しています。今後は、ハローワークと連携を図りながら多様な就業機会の確保など、会員拡大に向けた取組の強化を図っていきます。

また、傷害事故は、7件で前年度より1件減、賠償事故は、刈払い機での石飛事故が3件で前年度の6件より半減しましたが、事故0を達成するために、さらなる安全対策に向けた取組を強化しなければなりません。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月開催を予定していた安全就業促進大会をはじめ、各職群班の全体会議や地域班会議等も感染拡大防止のため、中止や縮小をして行いました。

事業実績

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

1 就業開拓提供等事業

(1) 受託事業 (一般)

高齢者の就業機会を確保し、高齢者の希望や能力に応じて、グループ就業やローテーション就業などを行い、高齢者に臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会の提供を行いました。

	令和2年度実績	前年度比	計 画
			達成率
会 員 数	579人	16人減	680人
			85%
就業実人員	493人	8人減	500人
			99%
就業延人員	72,573人日	8,685人減	77,000人日
			94%
就 業 率	90.2%	0.6ポイント増	90%
			100%
事業収入	264,519千円	39,847千円減	301,000千円
			88%

(主な就業分野)

- 事務 (文書作成、受付事務、賞状・宛名書き等の筆耕等)
- 技能 (剪定、大工、左官、襖・障子・網戸張替え、刃物砥ぎ等)
- 管理 (小・中学校、地区公民館、駐輪場、イベント会場での駐車場整理等)
- 配布 (市広報誌、チラシ・フリーペーパー配布等)
- 屋外・屋内作業 (屋外・屋内清掃、除草、植木消毒、家財搬出、農作業等)
- 福祉・家事援助サービス (家事手伝い、育児支援等)

(2) 独自事業

地域のニーズに対応するために、独自の創意と工夫により次の事業を実施しました。

○ リサイクル事業

市民から提供された衣類、家具、家電製品、自転車等の再生・販売、また、学校給食や一般家庭の廃油を原料とした石けんの製造・販売を行いました。

この事業により、ごみの減量化と資源の有効活用など市民の3R活動を推進しました。

○ 宮原坑ショップ事業

世界遺産宮原坑で、来場者へ地元特産品及び会員手作り品等を販売しました。

○ 生きいきシルバー農園事業

耕作放棄地対策として、休耕地を活用した農産物の生産及び有料市民農園事業を行い、農産物は農園直売所、センターのショップ等で販売しました。

令和2年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	30人	3,000人日	9,000千円
実 績	27人	2,288人日	5,853千円

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業

令和2年度より、市の介護予防・日常生活支援総合事業の指定事業所として、掃除、買い物等の生活支援サポートを行う基準緩和型訪問サービスを始めました。

令和2年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	12人	800人日	1,970千円
実 績	2人	36人日	74千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

地域の高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲における就業を紹介するとともに、地域事業者の求人等の情報収集及び提供を行いました。

2 労働者派遣事業

地域における人手不足と高齢者が求める就業形態の多様化に応えるため、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において、労働者派遣事業を実施しました。

令和2年度	就業延人員	契約金額
計 画	5,000人日	15,000千円
実 績	3,780人日	11,052千円

(主な就業分野)

高齢者施設等の配膳業務、送迎業務、食品包装業務、商品整理等

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等（公益目的事業）

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ① 月2回の入会説明会を開催し、高齢者の生きがい就労や社会参加活動を紹介するとともに、全戸配布の無料情報誌に、センター事業の紹介や会員募集の広告を掲載しました。
- ② 毎月10日の十日市やおおむた道の駅「花ぷらす館」への会員手作り品の出品、年間を通し出張販売する「よかもん商店街」への参加等で、市民へのセンター事業の普及啓発を行いました。
- ③ 10月の普及啓発促進月間に、市及び市議会への支援要請行動を行うとともに、地元新聞社へセンター事業の情報提供やホームページにリアルタイムの求人情報等を掲載し、情報発信を行いました。
- ④ 女性会員の拡大を図るため、県シ連による女性会員拡大に関する会議に当シルバーから委員として参加をしました。12月には、女性会員の集い「カメラの会」で「コケ玉づくり」を実施するとともに、大牟田市エコサンクセンター環境教室での年4回

の布ぞうり教室、年2回のちりめんリース作りを実施しました。

(2) 社会参加・ボランティア活動

毎年参加していた、夏祭りの市民総踊りと夏祭り清掃奉仕活動については、新型コロナウイルスの影響により中止されました。

① 市役所剪定奉仕活動 10月 3日(土) 会員及び職員 56人参加

② 高齢者生きがい創造センター剪定・除草奉仕活動

10月10日(土) 会員及び職員 112人参加

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の推進

「安全は全てに優先する」を基本とし、連合会安全就業促進大会への参加、安全・適正就業委員会の開催、安全パトロールの実施等を行いました。

今年度は、剪定作業中の転落という重大な事故が発生したことを受け、安全パトロールを強化し、計12回(剪定作業現場17ヶ所、除草作業現場16ヶ所)の実施をしました。また、職群別定例会では事故事例についての周知分析を行うとともに、夏場の熱中症予防などの注意喚起を行いました。

今年度の事故発生状況は、傷害事故が7件、賠償事故が3件発生しました。傷害事故では、転倒事故が半数を占めるほか、蜂刺されなど事故が発生しました。賠償事故は、件数は昨年度より半減したものの、全て刈払機による石飛事故となっています。

事故の原因を分析し、再発防止を図ることが必要です。事故の内容は以下のとおりです。

【傷害事故】 7件 (前年比-1件)

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
6/2 9:00	男	74	就業中 (転落) 103日入院 22日通院	剪定	狭い現場で三脚を立て、6段目(推測)まで登って作業をしていたところ、一瞬意識が無くなり、転落した。 4人作業の現場だったが、転落の瞬間の目撃者はいなかった。
					(事故原因) 本人は転落の瞬間「目の前が真っ暗になり覚えていない」と話しており、熱中症等の体調不良が原因と考えられる。
					(再発防止策) 各自で体調管理を徹底する。KYミーティングや作業中において、会員同士の体調確認の声掛けを行う。

7/18 7:50	男	77	就業途上 (転倒) 38日入院 8日通院	剪定	就業先への坂道をバイクで走行中、登り切れずに止ま ってしまい、バランスを崩して転倒した。
					(事故原因) 本人はバイクで登り切れると思っていたが、見込みが甘 かった。
					(再発防止策) 急な坂道や狭い路地等の転倒の危険がある場所は、 バイクで走行しない。
8/1 11:00	男	72	就業中 (転倒) 4日通院	広報 配布	バイクを運転して広報配布をしていた際、バランスを崩 し、転倒した。
					(事故原因) 工事中の道路を通行しようとした際、道幅が狭くなって いたため、バランスを崩した。
					(再発防止策) 自転車・バイクでの転倒事故は大怪我に繋がるおそれ があるため、運転の際は十分注意する。道幅が狭くなっ ているところでは、手で押すなどして、安全に通行す る。
8/13 9:00	女	68	就業中 (蜂刺され) 3日通院	除草	個人のお墓を除草している際、近くに蜂の巣があること に気づかず、蜂に刺された。
					(事故原因) 周囲の安全確認が不十分であった。
					(再発防止策) 普段人の出入りがない場所(空家や空地など)は特に 蜂の巣がある危険が高いため、作業前KYで十分確認 するとともに、蜂スプレーや薬品を常備しておく。
10/7 11:30	男	72	就業中 (転倒) 通院中	除草	墓地の法面を作業中、滑って転倒し、縁石に右肩をぶ つけ負傷した。スパイク付きの地下足袋を着用していた が、それでも滑ってしまった。
					(事故原因) 足元の安全確認が不十分であった。

					(再発防止策) 法面を移動する際は、スパイクつきの地下足袋であっても注意を怠らない。スパイクをしっかり地面に刺し、安定した状態を確保する。
12/14 11:45	女	77	就業途上 (転倒) 39日通院	清掃	自転車帰宅途中、側溝にタイヤがはまり転倒し、左ひざを負傷した。
					(事故原因) 足元(路面)の確認が不十分であった。
					(再発防止策) 足元の確認を十分に行う。走行が難しい場所では、自転車から降りて手で押すなどして、安全に通行する。
2/22 9:00	男	79	就業中 (打撲) 3日通院	除草	孟宗竹の伐採作業中、運搬していた孟宗竹が隣を作業していた会員の顔に当たり、負傷した。
					(事故原因) 周囲の安全確認が不十分であった。
					(再発防止策) 周囲の安全をよく確認しながら作業する。長いものを使用、運搬する際には特に注意する。

【賠償事故】 3件 (前年比 - 3件)

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
6/10 時間不明	男	72	就業中 車両リアガラス破損	除草	刈払機を使用して空家の除草作業をしていた際、石を飛ばし、隣のアパートに駐車されていた車両リアガラスを破損させた。
					(事故原因) 1.5mのフェンスに防護ネットをかけて石飛対策を行ったが、飛び越えてしまった。
					(再発防止策) 設置型の防護ネットから離れすぎない。離れた箇所を作業する場合は、他の会員がネットを持つなどして確実な対策を実施する。
12/22 11:00	男	73	就業中 建物窓ガラス破損	除草	刈払機を使用した作業中に石を飛ばし、建物の窓ガラスを破損させた。
					(事故原因) 防護ネットを使用して作業していたが、防護ネットの範囲外まで刈り込んでしまい、石を飛ばした。

					(再発防止策) 作業範囲に合わせて、防護ネットを張り直すなどの対策を必ず実施する。
1/25 11:00	男	73	就業中 車両フロント ガラス破損	除草	刈払機を使用して作業していた際、石を飛ばし、車両フロントガラスを破損させた。
					(事故原因) 周囲に駐車車両が多い現場だったため、防護ネットを複数枚使用し対策していたが、防護範囲が足りなかった。
					(再発防止策) 防護ネット設置だけでは不十分な場合は、他の会員に防護ネットを持ってもらうなどして対策を行う。

(2) 適正就業の推進

発注者との契約については、請負か指揮・命令が発生する派遣事業かの点検・確認を行うとともに、シルバー人材センターの働き方である臨時的かつ短期的又は軽易な就業であるためのローテーション就業及び長期就業の是正に取り組みました。

また、就業不適格会員に対する措置要領に基づき、問題行動の会員への就業停止措置及び注意勧告を行いました。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

就業を希望する地域の高齢者に、毎月2回の入会説明会及び毎月1回の会員登録説明会を行うとともに随時の就業相談に対応しました。

4 研修・講習事業

① 安心・安全講習

新型コロナウイルス感染拡大予防のために、感染症対策のチラシを全会員へ郵送するとともに、職群定例会においても周知をし、感染症対策ポスター掲示を行いました。

② 健康管理講習

夏場の熱中症対策について、職群定例会での注意・啓発や熱中症対策のチラシ掲示を行いました。

③ 接遇講習

利用者の信頼と満足を得るために、会員へのクレームに対する注意及び接遇の指導を行いました。

④ 剪定講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等についての座学研修を実施しました。(開催5回、研修会員7人)

⑤ 除草講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等について、座学及び実技講習を実施しました。(開催11回、研修会員11人)

⑥ 子育て・福祉・家事援助講習会

全シ協主催の子育て・福祉・家事援助サービス担当者研修会が、12月にオンラインで開催され職員1人が参加しました。

⑦ 職員研修会

○九州ブロックシルバー人材センター連絡協議会の職員研修会は、新型コロナウイルスの影響により令和2年度は中止となりました。

○県連合会の講師による筑後ブロック会計担当職員研修会が、2月5日(金)にサザンクス筑後で開催され、職員2人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

○筑後ブロック業務担当職員研修会は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

5 調査研究事業

公益社団法人として会員増対策と経営の安定化を進めるために、福岡県シルバー人材センター連合会からの情報収集及び筑後ブロックでの情報交換を行いました。